※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	(学)子どもと造形	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・造形表現に関する知識や技術を習得し、教材等の活用及び作成と保育の展開を学びましょう。
・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養っていきましょう。
・保育者には総合的な表現力（音楽表現・身体表現・言語表現・造形表現）を身に着けることが必要であり、これらの表現力のうち、特に造形表現を通して子どもとの関わりについて考え、また意見交換等を通して実際の保育に役立てる力を養いましょう。
・2 年次の「保育表現技術」で学んだ内容を応用し、豊かな感性や表現する力を養いましょう。

2　学習の到達目標

・子どもの表現を読み取り、感性や創造性を豊かにするための援助・指導のあり方や保育者自身の表現の重要性について学ぶ。
・子どもの造形表現を理解し、身近にある様々な材料を使い、楽しみながら工夫して様々な作品を制作する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育の内容を理解し、子どもの遊びを豊かに安全に展開するために必要な知識や技術を習得する。	表現活動にかかわる教材等の活用及び作成と保育の環境構成及び具体的展開のための技術を探究する力を養う。	遊びを通して子どもたちが感じたことや考えたことを身振り、言葉、音、物などで表現する大切さを学ぶ。制作に主体的に取り組むとともに積極的に意見交換などを行う等、学習に意欲がみられる。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	造形表現の基礎	＊子どもと造形を学ぶにあたってのオリエンテーション ＊2年次の保育表現技術を発展させて様々な造形表現について学習する。 (課題1)もん切り (課題 2)様々な紙を使用してコラージュ (課題3)身近な素材(粘土、シール、のり等)を使用して作品を制作	a:・造形表現の基本を学び、作品制作の手順を理解し、指示通りに制作されている。 ・作品を丁寧に扱っている。 b:・作品制作についての説明を聞いて、自分なりに表現する工夫がされている。 ・子どもが興味を引くような工夫がされている。 c:・制作に積極的に取り組んでいる。 ・制作の際の疑問点、難しかった点、反省点等を感想とともに挙げ、自己評価ができている。	作品	作品	・制作活動の感想 ・振り返りシート
二学期	造形表現の発展	(課題4)絵本製作 (課題5)マーブリング (課題6)季節行事の作品制作	a:・作品制作の手順を理解し、指示通りに制作されている。 ・作品を丁寧に扱っている。 b:・作品制作についての説明を聞いて、自分なりに表現する工夫がされている。 ・子どもが興味を引くような工夫がされている。 c:・制作に積極的に取り組んでいる。 ・制作の際の疑問点、難しかった点、反省点等を感想とともに挙げ、自己評価ができている。	作品	作品	・制作活動の感想 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	造形表現の応用	(課題7)卒業記念作品制作	a:・作品制作の手順を理解し、指示通りに制作されている。 ・作品を丁寧に扱っている。 b:・作品制作についての説明を聞いて、自分なりに表現する工夫がされている。 ・子どもが興味を引くような工夫がされている。 c:・制作に積極的に取り組んでいる。 ・制作の際の疑問点、難しかった点、反省点等を感想とともに挙げ、自己評価ができている。	作品	作品	・制作活動の感想 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度